

三鷹市議会議員

野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.61



◆HPV ワクチン 子宮頸がんワクチン、副作用被害続々

4/28、全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会主催の勉強会に参加。

HPV（ヒトパピロマーウィルス）ワクチン接種による副作用報告は1000人を超え、**重篤な症例は100人を超えた**（厚労省薬事審議会資料）。10万人当たり1.2人以上の重篤な副作用で、これはインフルエンザワクチンの24倍、52倍！

症状は、痙攣、感覚の麻痺、歩行不能、慢性的な頭痛、嘔吐、金づちで殴られるような激しい痛みが全身の各所で断続的に発生、視覚障害、計算障害、脱毛、ギラン・バレー症候群、全身性エリトマトーデス、散在性脳脊髄炎などで、入院したり障害が残ると報告されている。

日本で接種開始3年。すでにサーバリックス接種後に死亡した例は1人。アメリカでは接種700万人中32人の死亡例が確認（10万人当たり0.5人）

効果は限定的、必要性に疑問

子宮頸がんによる死亡は、60代と85才以上が高い。20代の罹患率が増えているのは、検診クーポンで受診率が高まり発見率が高まったため（佐藤荘太郎医師）。HPVワクチンの効果は10年弱で、それ以上**効果が持続するかは現段階では不明**。

HPVは100種類以上あり、高リスク型は15種類。ワクチンは子宮頸がん患者の60%が感染しているという16型と18型2種類に対応。40%の**他の高リスク型感染者には効果がない**。

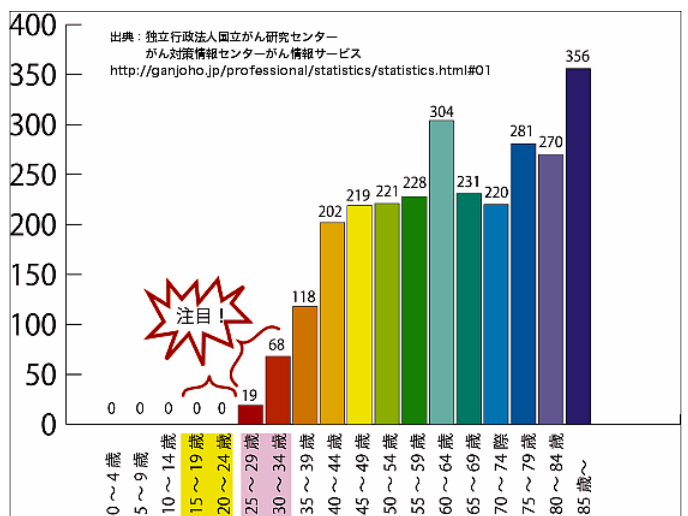
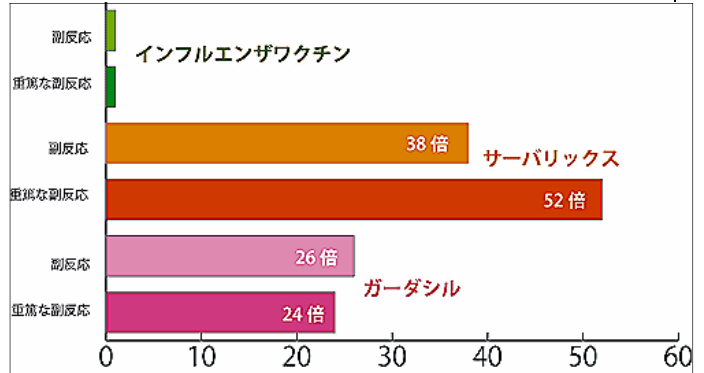
一方、正常な子宮頸部でのHPV16型検出率は0.5%、18型は0.2%（琉球大婦人科）。HPVは感染しても90%は自然消滅。そのまた10%が持続感染して「異形成」という前がん状態になるという。つまり**0.7%しか感染しないウイルス**で、さらに感染者の**%しか発症する危険性がない**ウイルス対策への予防接種。空気感染ではなく、性感染という形態からしても公衆衛生上本当に必要だろうか。保護者への情報提供の不十分さも問題とされた。

予防には併用検診が鍵

子宮頸がんは、HPVの持続感染から異形成まで10年以上とされる。細胞診とHPV検査の併用で**異形成の発見率はほぼ100%**。検診で感染者は継続観察、異形成段階で切除すれば完治する。

今夏から厚労省は、200市町村で併用検診を全額補助して効果を検証する。しかし、高リスク型HPVに感染しても必ずしも異形成やがんに進むわけではなく、特に**20代では一時的な感染が多いので**、当面は対象を30歳、35歳、40歳の希望者に限定する予定だという。予防接種と矛盾してない？

一人5万円総額300億円の予防接種より、一人5千円で10倍の人数の**検診の方が予防効果が高い**。



出典：独立行政法人国立がん研究センター
がん対策情報センターがん情報サービス
<http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html#01>

◆2度目の春の福島へ

■福島原発震災情報連絡センター総会 & 視察研修inいわき市

4/25はいわき市ゆったり館にて総会及び佐藤栄佐久前福島県知事の記念講演「『知事抹殺』を語る」。私は司会を務めた。

「被災自治体いわき市の取り組み」について市職員から報告を受ける。特に町外コミュニティ＝「仮の町」構想は、三宅島避難と比較されるが、4千人弱を東京都が受け入れるのと、3万弱を33万のいわき市が受け入れるのでは全く違うと強調された。いわき市も大震災・津波の被災者。住民同士の感情の軋轢等が生じていることも後に伺い、問題の根深さを感じた。

4/26午前は、バスで警戒区域が解除された富岡町に向かう。途中、田や家の周辺などでの除染作業や、除染された土壌等を収納したフレコンバックが積み上げ並べられているのを見る。作業の費用対効果と作業員の被曝状況とは見合うのだろうかとかやはり疑問に思ってしまう。



海に近い富岡駅は2年前の津波被害のまま。町も家が壊れ傾いたまま取り残されていた。新たな立ち入り禁止区域は桜で有名な夜の森駅近く。車内で2.05μSvを計測。桜は下から1～2mほど木の皮を剥ぎ、根元の土を入れ替えて除染したという。原発事故の爪痕、その被害の大きさを改めて感じさせられた。



その後、いわき市久之浜の仮設浜風商店街で、津波や津波火災の被害状況、復興の現状などを伺う。

午後は、「いわき放射能市民測定室たらちね」視察。食品の測定器は3台。食材と土壌の持ち込みを測定。昨秋はキノコで1万Bq、この春は、山菜のコシアブラで1000Bq、タケノコも数百Bq検出。



新たに、専門医の協力を得て甲状腺エコー検査を開始。医師がボランティアで検診。その場で説明しデータプリントを渡す。継続して自分でデータをとっていくことが大事と、代表の鈴木さん。今後の保養支援が必要と訴えていた。



■福島原発告訴団全国事務局会議 & 総会in郡山市

4/26夜は全国事務局会議。八重桜満開の磐梯熱海にて。27日は、郡山市にて総会。告訴人1500弱。10万筆を超える署名を提出も、未だ強制捜査もされずにいる状況。

5/31(金)午後1時半から日比谷野音にて、緊急集会と東京地検激励&東電抗議行動を実施予定。



◆市民発電を考えよう ドイツ映画『シェーナウの想い』と講演会

6月1日(土) 13:30～三鷹市市民協働センター、資料代¥500、主催さよなら原発!三鷹アクションnonukes.mitaka@gmail.com

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会newsNo.61
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net
Url: http://www.nomura-yoko.net
Twitter: https://twitter.com/#!/hitujinomura